日立産機システムニュース

VoltAge 21の印刷現場を訪問しました!

大日本印刷株式会社

おかげさまで、日立産機システムニュース「VoltAge21」は、
記念すべき第100号を迎えることができました。
今回は、大日本印刷さんの榎町工場を訪ね、皆さまのお手元に届けるために
どうやって本誌を印刷しているのかご紹介いたします。

隔月で発行している日立産機システムニュース「VoltAge21」は、2002年4月の会社創立とともに誕生しました。躍進するお客さまの取り組みや当社の最新製品、業界の動向など、役立つ情報をご紹介しています。

色見台で、理想の色か（技術確認）ヨゴレやキズがないか（品質確認）などをプロの目で厳しくチェック（上）ルーペを使って版ズレをチェック（左下） 手もとの調整ボタンでインクの量を細かく増減し、色調整を行う。色は、紙の特性や温湿度にも左右される。まさにプロの技（右下）

印刷工場に送られた印刷用データは、面付け作業後に「刷版」というアルミ製の板に出力される。別名「ハンコ」とも呼ばれる。

実際に印刷に使われるオフセット枚葉印刷機。9月号（20ページ）では、45,000シートを5時間ほどで印刷する。

印刷には速乾性の高いUVインクを使用しており、出てきた用紙はすでに乾燥工程まで終了している。印刷技術の進化は、納期の短縮を実現。刷り上がりは、2,000枚ごとに1枚抜き出して色や印刷品質を厳しくチェックする。

紙は、落ち着いた風合いと優れた印刷適性を持つマットコート紙「ニューVマット」を使用。この高さで、11,000枚もある。

大日本印刷株式会社

社　　長　北島義斉
創　　業　1876（明治9）年10月9日
所 在 地　本社／東京都新宿区
　　市谷加賀町一丁目1番1号
　　榎町工場／東京都新宿区榎町7
従業員数　38,627名（連結）、10,775名（単体）
　　（2018年3月31日現在）
事業領域　情報コミュニケーション部門、生活・産業部門、
　　エレクトロニクス部門、清涼飲料部門
http://www.dnp.co.jp

榎町工場外観

株式会社DNPグラフィカ
製造本部 製造第1部
副部長　堤智也 様

いつも喜んでいただける「VoltAge21」をお届けします。

読者の皆さまが「VoltAge21」を手に取った時、喜んでもらえるような高い品質の印刷物に仕上げることを常に意識し、当社に依頼してよかったと思っていただけるように努めています。機械状態を良好に保つメンテナンスやオペレーター教育、社内の標準作業手順の遵守などに取り組み、これからも、いつも安定したモノづくりができるよう、全員一丸となって取り組んでいきます。

プロの厳しい目と鍛えられた技術で、高品質な印刷とミスのない納品を支えている

印刷工程の後は、製本、断裁の工程を経て完成。その後1冊1冊丁寧に発送されて、皆さまのお手元に届きます。

印刷の現場でも日立製の空気圧縮機が活躍しています。

日立製空気圧縮機 HISCREW NEXTⅡseries

2018年2月に導入された3台の日立製空気圧縮機は、印刷機のシリンダー動力やエアーコンプレッサーなどに使用され、24時間稼働の工場で活躍している

省エネ、安定稼働の空気圧縮機は印刷工程に欠かせません。

日立製空気圧縮機を、ご愛顧いただいています。印刷工程では必要空気量に応じてインバータで可変速させ、台数制御によって稼働台数をコントロールするため、運転時間の平準化と省エネに大きく貢献しています。これからも、安心・安定稼働、最適運用ができるよう取り組んでいきます。

大倉商工株式会社（日立特約店）
営業本部 営業一部
副部長　池上良介（右）

株式会社 日立産機システム
関東サービス統括部 東京サービス部 空圧グループ
主任技師　小山裕司（左）